

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第4週の発生動向

全数報告の感染症 (4週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	胸痛
		都城	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
		日向	80歳代	女	疑似症患者	腹水
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	発熱、全身倦怠感 ワクチン接種歴なし

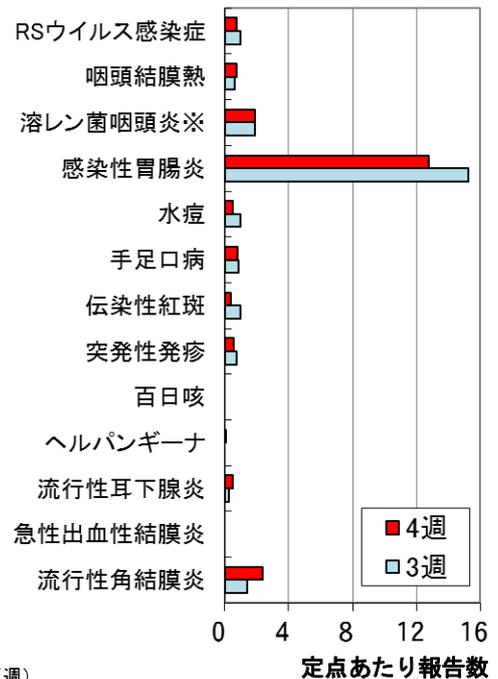
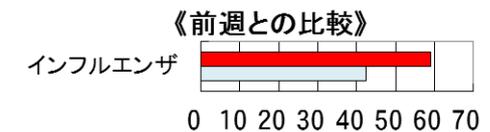
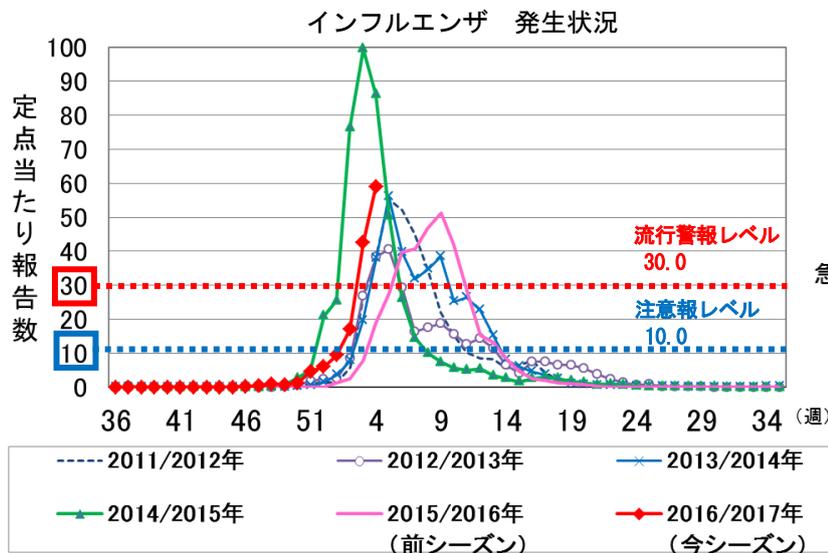
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は4,184人(定点当たり80.9)で、前週比121%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は3,486人(59.1)で、前週比139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(42.0)の約1.4倍であった。延岡(67.3)、宮崎市(64.3)、都城(62.7)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約3割を占めた。

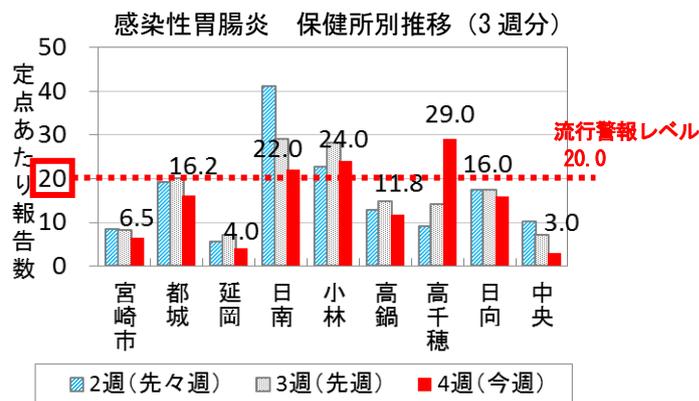
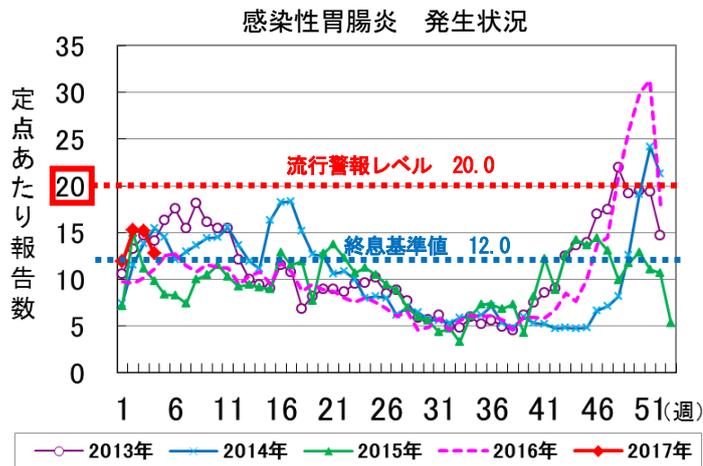


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

報告数は459人(12.8)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.5)の約0.9倍であった。高千穂(29.0)、小林(24.0)、日南(22.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があった。10歳代であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡保健所及び日向保健所から各1例ずつ報告があった。0～4歳と20歳代で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(64.3)
都城	インフルエンザ(62.7)
延岡	インフルエンザ(67.3)
日南	インフルエンザ(41.8)、咽頭結膜熱(3.7)、 感染性胃腸炎(22.0)
小林	インフルエンザ(61.4)、感染性胃腸炎(24.0)
高鍋	インフルエンザ(61.3)
高千穂	インフルエンザ(30.0)、感染性胃腸炎(29.0)
日向	インフルエンザ(51.3)
中央	インフルエンザ(54.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成29年1月30日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O86a:HNM)	5～9歳	男	2017.1.13	胃腸炎(血便)	便	2017.01.20
EPEC(O103:H4)	0～4歳	男	2017.1.14	発熱(40.0℃)、上気道炎(咽頭炎)、 胃腸炎(下痢、腹痛)	便	2017.01.25

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザウイルスAH3型	20歳代	女	2016.12.15	インフルエンザA型、38.4℃、頭痛、 関節痛、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)	鼻汁	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	0～4歳	女	2016.12.16	インフルエンザA型、38.0℃、熱性けいれん、 鼻水	咽頭ぬぐい液	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	10歳代	女	2016.12.19	インフルエンザA型、39.8℃、頭痛、 下気道炎(気管支炎)、胃腸炎(嘔気、 嘔吐、腹痛、)	鼻汁	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	10歳代	女	2016.12.19	上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	60歳代	女	2016.12.12	インフルエンザ、38.7℃、上気道炎(咽頭炎、 咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	10歳代	女	2016.12.13	インフルエンザA型、39.0℃	鼻汁	2017.01.18
インフルエンザウイルスAH3型	30歳代	女	2016.11.24	インフルエンザA型、39.0℃、頭痛、 上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.01.18
パレコウイルス1型	0～4歳	男	2016.10.20	腸炎、38.0℃、胃腸炎(血便)	便	2017.01.18
エコーウイルス9型	0～4歳	女	2016.12.16	エンテロ疑い、39.5℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.01.19
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2016.10.17	手足口病、39.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.01.27

○インフルエンザや上気道炎と診断された7名の咽頭ぬぐい液および鼻汁からインフルエンザウイルスA/H3型が検出された。今シーズンは全国的にA/H3型が優位となっており、本県でも同様の傾向がみられる。宮崎県は1月25日にインフルエンザの流行警報を発表した。今後も流行が続く可能性があることから、手洗い・うがいやワクチン接種などの予防策をとり、感染を未然に防ぐことが重要である。

○腸炎と診断された乳児1名からパレコウイルス1型が検出された。日本では1型と3型の感染例が多く、主に乳幼児の呼吸器感染症や胃腸炎の起因ウイルスとして知られる。特に1型は秋から冬にかけて多く検出される傾向があるため、今後も動向に注意する必要がある。

📊 全国 2017 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第3週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	305 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	19 例		
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	4 例	エキノкокクス症	1 例
	ジカウイルス感染症	1 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	9 例
	デング熱	9 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	58 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	63 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	2 例
	麻しん	5 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 152%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎と水痘であった。

インフルエンザの報告数は142,144人(28.7)で前週比188%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(21.8)の約1.3倍であった。宮崎県、愛知県(42.5)、埼玉県(38.5)からの報告が多く、年齢別では5~9歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第4週(1月23日～1月29日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2509	3486	1028	627	471	209	307	368	60	308	108
	定点あたり	42.53	59.08	64.25	62.70	67.29	41.80	61.40	61.33	30.00	51.33	54.00
RSウイルス 感染症	報告数	35	27	6	9	9	1		1		1	
	定点あたり	0.97	0.75	0.60	1.50	2.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	26	7	4	4	11					
	定点あたり	0.64	0.72	0.70	0.67	1.00	3.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	69	30	2	5	8	10	5	2	6	1
	定点あたり	1.89	1.92	3.00	0.33	1.25	2.67	3.33	1.25	2.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	548	459	65	97	16	66	72	47	29	64	3
	定点あたり	15.22	12.75	6.50	16.17	4.00	22.00	24.00	11.75	29.00	16.00	3.00
水痘	報告数	36	18	2	2	4	2		1		6	1
	定点あたり	1.00	0.50	0.20	0.33	1.00	0.67	0.00	0.25	0.00	1.50	1.00
手足口病	報告数	32	29	7	10	7		3	2			
	定点あたり	0.89	0.81	0.70	1.67	1.75	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	36	14	6		6					2	
	定点あたり	1.00	0.39	0.60	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	27	21	10	3	3		2	1			2
	定点あたり	0.75	0.58	1.00	0.50	0.75	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		2								2	
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	10	18	2	1	5		1	5		3	1
	定点あたり	0.28	0.50	0.20	0.17	1.25	0.00	0.33	1.25	0.00	0.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	12	11	1							
	定点あたり	1.40	2.40	5.50	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	2			1					1	
	定点あたり	0.29	0.29	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～4週)

2類感染症	結核	17例(3)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	5例
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)	梅毒	1例

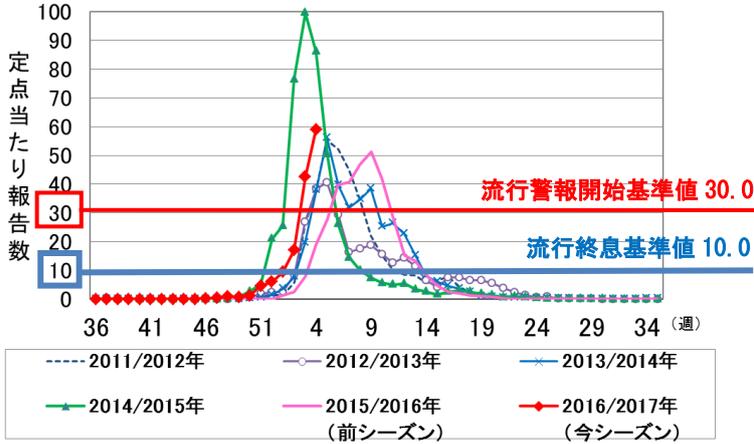
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第4週、全国第3週（再掲）》

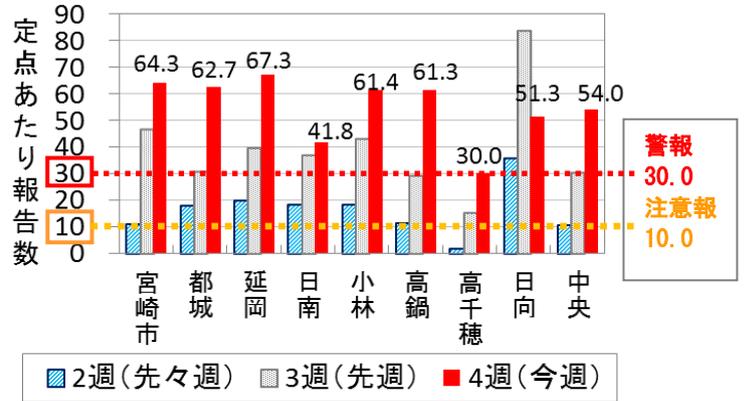
□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

2017年1月23日～1月29日までの1週間で3,486人（定点あたり59.1）の報告があった。前週の約1.4倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*（42.0）の約1.4倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が31%、10-14歳が24%、15-19歳が8%、20-59歳が13%、60歳以上が5%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

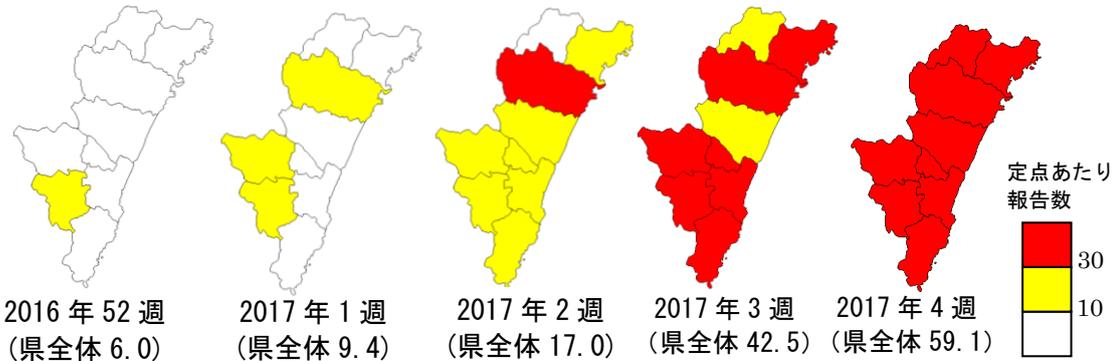


（図3）年齢群別割合の推移（2016年52週～2017年4週）

52週 354人	11%	20%	23%	8%	31%	7%
1週 556人	18%	14%	12%	10%	37%	9%
2週 1,003人	21%	21%	15%	11%	24%	8%
3週 2,509人	19%	28%	25%	9%	14%	5%
4週 3,486人	19%	31%	24%	8%	13%	5%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2016年第52週～2017年4週



□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

2017年1月16日～1月22日までの1週間で142,144人（28.7）で前週比188%と増加した。宮崎県、愛知県（42.5）、埼玉県（38.5）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の約18%、5-9歳が26%、10-14歳が20%、15-19歳が8%、20-59歳が21%、60歳以上が7%であった。